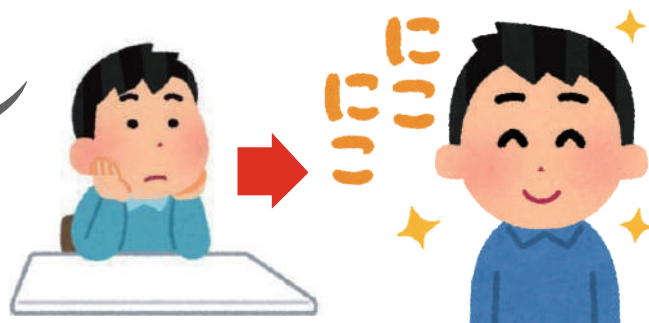




第32回 日本白内障屈折矯正手術学会(JSCRS) 学術総会に参加しました!

6月25日～27日の3日間、東京国際フォーラムにてJSCRSがハイブリッドで開催され、中村院長・小島医師は現地にて講演や座長を務めました。吉田副院長をはじめ長谷川医師やORTもオンラインで発表しました。

適応検査のキャンセル待ちができるようになりました!



現在、LASIK・ICLの適応検査の予約が大変取りづらく、ご迷惑をおかけしております。そのため、キャンセル待ちを承ることに致しました。既に何人かの方に、元のご予約より1ヶ月以上早く適応検査を受けていただけました。ご希望の方は、適応検査ご予約時にお申し出ください!

※コンタクトレンズの中止期間が取れない場合、再検査の可能性があることをご了承ください

『眼科119番 第3版』 近日出版!!

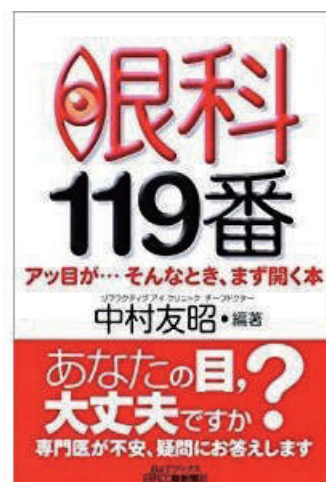
中村院長がグループ医院の先生方と執筆した『眼科119番』の初版からなんと19年!

今回、その第3版を日刊工業新聞社から発刊することになりました。

目にトラブルが・・・そんな時に開く本です。

アップデートされた『眼科119番』にどうぞご期待ください!

『眼科119番』初版





ぎふチャンラジオ

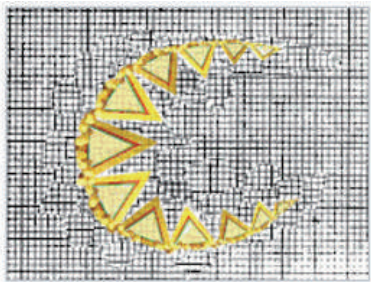
『今日もラジオは!? 2時6時』

7月は、よく診察室で尋ねられる

『閃輝暗点(せんきあんてん)』についてお話ししました。

閃輝暗点とは、突然ギザギザした光の波が見えて拡がり、
そこが暗くはっきり見えなくなります。

通常両眼同時に起こり、20分～40分程続いた後、
「片頭痛」が起こることもあります。



Wikipediaより

原因は、脳の後頭部(視覚野)の血管の一時的なけいれんによって起こると言われています。けいれんが治まって血液が流れ始めると周りの神経を刺激して片頭痛が起こります。

つまり、閃輝暗点は目の病気ではないようですね。

片頭痛を伴う若い方の場合、年齢と共に回数も減り、いずれほとんど起こらなくなります。中年で閃輝暗点だけで片頭痛が起こらない場合は、脳の疾患も疑われるので、頻回に起こるようなら精密検査を受けることをお勧めします。

点眼は1滴で十分です!!

心配になってしまう方が多くいらっしゃるかもしれませんが、
点眼は1滴で十分なんです。

点眼薬の1滴の量は約 $40\mu\text{l}$ (0.04ml)。目の中には涙が溜まっていますが、溜まるスペースの最大容量は約 $30\mu\text{l}$ で、そのうち涙は約 $7\mu\text{l}$ です。目の中に残ることができる点眼薬の量は $40-(30-7)=17\mu\text{l}$ しかないことになります。数滴点したくなってしまうのですが、これではこぼれてしまいますね。点眼薬は1滴で効くようにできているので、安心してくださいね!

(長谷川医師のドクターリレーコラムより)



堀川まつりに協賛しました!



今年も6月5日・6日に行われた堀川まつりに協賛しました。

コロナ禍のため規模は縮小されましたが、それでもまきわら船には灯がとまり、疫病退散の花火が上がりました。

夏季休診のご案内

8月9日(月・振替休日)～
8月14日(土)は
休診いたします。

皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、
ご理解いただきますよう
お願い申し上げます。

8月16日(月)より通常通り診療いたします。
なお、7月22日(木・祝)は休診いたしますが、
7月23日(金・祝)は診療いたします。